



草 見 露

第78号 令和7年（2025年）

秋季大祭斎行 大注連縄作り
悔い事被い（納め命日）

令和7年度年象意
しっ ふう じん らい
疾風迅雷の年

新年のご挨拶

浪越進照

親神尊を慕う皆様へ仁尾の鎮宮より

謹んで新年のお慶びを申し上げます



令和七年の年象意として「疾風迅雷」の四文字熟語を選ばせて頂きました。「疾風」は「速く吹き抜ける激しい風」、「迅雷」は「急に鳴り響く大地を揺るがすような激しい雷」なので、疾風迅雷は「それまでの状況を一変させる激しい変化が突如として現れる」という意味になります。

のようなネガティブな年象意の話ではありません。今年の星の配列は、フランス革命が起きた一七八九年の星の配列と酷似しているため、一七八九年にも疾風迅雷の力が強く働いていたと考えるのが妥当です。

疾風迅雷の力が働く年に起きたフランス革命は、「庶民の良心」が「国王の王政」を倒す形で成し遂げられました。つまり、「王政を行っていた国王」にとつては、疾風迅雷が目に見えぬ凶事の力として働き、「庶民の良心」にとつては長年の王政から解放される千載一遇のチャンスが疾風迅雷によってもたらされたのです。

親神尊を慕い、日々の「奉拝五行」を通じて親神尊の御教である「六心の精進」に勤しみ努めている我々が、今年の疾風迅雷によって「六心の精進」を省みないフランス国王と同じ立場に立たされるとは思えません。だとすれば、親神尊を慕う我々にとつての疾風迅雷は、我々を大きく飛躍させる好ましい力として働くに違いありません。

疾風迅雷に関するここまでの解説を読み、避けようがない難事に突如として今年見舞われる自分の姿を想い描かれたかもしれません。しかし、ここでお伝えしたいのは、そ

「それまでの状況を一変させる激しい変化」が突如として現れる疾風迅雷の令和七年ですが、親神尊を慕い「六心の精進」に日々勤しむ我々が、より一層「六心の精進」に励み続けられ、必ずやその疾風迅雷が我々の背を強く押してくれることでしょう。

親神尊に結果のすべてを委ねる「南無親神尊」を唱えながら、目の前に現れた困難を一つずつ解決していきましよう。親神尊と疾風迅雷の大きな力を自分の味方につけて。

※奉拝五行：額向・喜悅・入定・省悟・丹祈
※六心の精進：「三罪心（我欲心・憎悪心・他虐心）の滅却」と「三徳心（堪忍心・憐愍心・許容心）の精進」

無意無恩頼無創無生
(進照)

(進照)

令和7年(2025年)

七宝稲荷暦吉日一覽表

1月

【3吉日】 8日(水) / 11日(土) / 20日(月)
23日(木) / 30日(月)
【2吉日】 2日(木) / 17日(金)

2月

【3吉日】 14日(金) / 17日(月) / 26日(水)
【2吉日】 20日(木)

3月

【3吉日】 21日(金) / 31日(月)
【2吉日】 3日(月) / 6日(木)

4月

【3吉日】 9日(水) / 15日(火) / 21日(月)
27日(日)
【2吉日】 12日(土) / 24日(木)

5月

【3吉日】 2日(金) / 8日(木) / 14日(水)
20日(火) / 27日(火)
【2吉日】 5日(月) / 11日(日)

6月

【3吉日】 20日(金)
【2吉日】 11日(水) / 23日(月)

7月

【3吉日】 3日(木) / 15日(火) / 21日(月)
【2吉日】 6日(日) / 18日(金)

8月

【3吉日】 2日(土) / 11日(月) / 17日(日)
【2吉日】 14日(木) / 20日(水)

9月

【3吉日】 11日(木) / 25日(木) / 28日(日)
【2吉日】 14日(日) / 22日(月)

10月

【3吉日】 なし
【2吉日】 4日(土) / 13日(月) / 19日(日)
26日(日)

11月

【3吉日】 4日(火) / 30日(日)
【2吉日】 7日(金) / 21日(金) / 27日(木)

12月

【3吉日】 6日(土) / 12日(金) / 29日(月)
【2吉日】 3日(水) / 15日(月) / 18日(木)
20日(土)

※ 日は日曜日、月や火等は祝祭日や振替休日の曜日です。

秋季大祭斎行

局地的に強い雨が降った九月二十二日（日）の午前十時から進照先生と前田民雄総代さんが令和六年秋季大祭斎行神事を厳かに進行。進照先生が行者の誓い、一切成就の祓いを奏上、大幣祓い、斎行開始の太鼓で総代さんも内陣へ上がり斎行の祝詞を奏上し、進照先生が親神尊や眷属神に対する秘儀を用いられる為、総代と撮影者は十分間程退室しました。そして神儀は再開され、総代さんが大幣を振り本堂を右回りで周回後、進照先生が「ご内遊！」と唱え神刀を振りつつ歩まれ、少し離れて総代さんも御意を抱え周回しました。

令和二年秋大祭以降九度も大祭は開かれておらず、来春の大祭を切望しています。

(M・A)



▶ 真心込めての合祓



大注連縄作り

冷え込みが厳しかった十二月八日（日）の午前八時から本堂で注連縄作りが始まりました。進照先生が参加者を修祓して下さった後、大注連縄を綯う班やゴボウ型注連縄班や眷属神用注連縄班とに別れて作業は進められていました。そしてその近くでは進照先生が火災杖作りに精出しておられ、台所では今年も浪越幸子さんが昼食作りに勤しんでおられました。

午後からも作業は続けられて出来上がったばかりの大注連縄とゴボウ型注連縄を進照先生に塩水で祓い清めて頂き、両方共に聖域を表す紙垂を慎重にかつ丁寧に飾り付けて新しい年を迎える準備が整いました。

(M・A)



▶ 塩水で祓い浄め



納め命日

令和六年十二月十八日午後八時より、内陣のお光り（蠟燭）を除くすべての灯りが消され、暗闇と静寂に包まれた本堂で、その年最後の神事「納めの命日（悔い事祓）」が厳かに執り行われた。

親神尊の御前である内陣では、憤怒の顔に慈悲を秘めた不動明王が描かれた浄紙の上に浄灰が置かれ、その浄灰から立ち昇る神煙により、参列者が持参した「悔い事の封書」が限りなく清められた。

清められた封書は、参列者が一旦自宅の神棚に持ち帰り、令和七年一月十二日の三毬杖

神事に再び持ち寄って歳徳神を送る浄火で焚焼される。

(進照)



▶ 蘊奥の唱言



お知らせ

三毬杖(とんど焼き)

日時

1月12日(日)
午前10時より

無病息災を祈るとんど焼きに多くの皆様に参加下さるようご案内申し上げます。可燃物と不燃物の分別もお願いします。同時に悔い事を書いた封書も忘れずご持参下さい。

厄除神事

日時

1月26日(日)

今年が前厄・本厄・後厄に当たる人で厄除けを希望される方は神社までお申込み下さい。申込み下さった方に詳細な内容の案内状を郵送致します。

春季大祭

日時

1月19日(日) 案内状宛名書き
2月9日(日) 春季大掃除奉賛
2月15日(土) 春季大祭(宵祭)
2月16日(日) 春季大祭(本祭)
2月17日(月) 祭収め

厳粛な神事が行われる祈願祭に、皆様がお誘い合わせてご参拝下さいますようご案内を申し上げます。

花見の会

日時

4月6日(日)

午前11時神事開始

参加費

男性：3,500円

女性：3,000円

散りゆく花びらと共に瘟鬼祓をして頂き、信者同士の親睦を深め合える機会にご参集下さるようご案内申し上げます。

茅輪作り

日時

6月28日(土)

午後1時より

竹を芯にして茅を束ねて巻き仕上げていく共同作業に、有志の方々にご参集下さいますようお願い申し上げます。

夏越祭(茅輪潜り)

日時

6月29日(日)

午前10時より

畏き神々を身近に感じつつ茅輪を潜る神事にご参列下さい。玄関前を護ってくれるミニ茅輪も受ける事が出来ます。

次号のご案内

次号「露見草 79号」は令和7年7月28日(月)に発行予定で、「初御祓」から「夏越祭」までが掲載予定です。

令和7年(2025年)

七宝稲荷年中行事

1月	1日(水)	新年初御祓	午前1時開始
	1日(水)	露見草78号発行日	
	12日(日)	三毬杖(とんど焼き)	午前10時開始
	19日(日)	春季大祭案内状宛名書き	
	26日(日)	厄除神事(要事前申込み)	
2月	9日(日)	春季大掃除奉賛	
	15日(土)	春季大祭【宵祭】	
	16日(日)	春季大祭【本祭】	午前10時御膳上げ
	17日(月)	祭収め	
4月	6日(日)	七宝稲荷花見の会	午前11時神事開始
6月	28日(土)	茅輪作り	午後1時作業開始
	29日(日)	夏越祭(茅輪潜り)	午前10時開始
7月	28日(月)	露見草79号発行日	
8月	17日(日)	秋季大祭案内状宛名書き	
9月	14日(日)	秋季大掃除奉賛	
	20日(土)	秋季大祭【宵祭】	
	21日(日)	秋季大祭【本祭】	午前10時御膳上げ
	22日(月)	祭収め	
12月	7日(日)	七宝稲荷年忘れ会	午前11時神事開始
	14日(日)	大注連縄作り	
	18日(木)	納め命日(悔い事祓)	午後8時神事開始